

Sustech、ヤマト運輸の ISO に準拠した GHG 算定からカーボンニュートラリ

ティレポート作成までを支援

2025 年 1 月 31 日

株式会社 Sustech

株式会社 Sustech（東京都港区、代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎／以下、Sustech）は、ヤマト運輸株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：長尾裕、以下、ヤマト運輸）が提供する「宅急便」「宅急便コンパクト」「EAZY」（以下、宅配便 3 商品）の国際規格 ISO 14068-1:2023^{*1}（以下、本規格）に準拠したカーボンニュートラリティ宣言^{*2}にあたり、温室効果ガス（以下、GHG）排出量の算定精緻化やオフセット、カーボンニュートラリティレポート作成のアドバイザー等の支援を実施しました。



SUSTECH

ヤマトグループは、社会的インフラを担う物流企業として、持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。気候変動の緩和に向けた対応は社会全体の喫緊の課題であり、2050年に自社の GHG 排出量実質ゼロおよび 2030 年 48%削減（2020 年度比）の実現に向けて、各取り組みを進めています。

Sustech は、ヤマト運輸の先進的な取り組みを全面的にバックアップすべく、2023 年度の宅配便 3 商品の本規格に準拠したカーボンニュートラリティ宣言をするにあたり、GHG 排出量算定の精緻化・高度化、最適なカーボンクレジットの提案や調達、カーボンニュートラリティレポート作成、ならびに今後の GHG 排出量削減策のご提案等のアドバイザー支援を行いました。

Sustech は、カーボンニュートラルな社会の実現に向け、企業や自治体における各種取り組みについて、今後もワンストップかつハンズオンで支援して参ります。

^{*1} カーボンニュートラリティを達成・実証するための原則・要求事項を規定した国際規格

※2 該当商品の過去の対象期間の GHG 排出量について、ISO 14068-1:2023 の定義に基づくカーボンニュートラルリティを達成し、将来の期間については削減・除去・オフセットの計画を示したうえで、カーボンニュートラルリティの維持をコミットすること。これらを通じて、製品としてのカーボンニュートラルリティを表明すること。

■Sustech の ISO14068-1 取得に関する支援について

Sustech は、カーボンニュートラルな社会の実現に向けて、組織及び製品・サービス単位での GHG 排出量の算定、削減目標・削減計画の設定、削減策の策定・実行・モニタリング、残余排出量のオフセットに至る、一連のカーボンニュートラル化への取り組みをワンストップかつハンズオンで支援しています。

ISO14068-1：2023 の検証意見書の取得支援では、GHG 算定の精緻化・高度化や削減施策の紹介と実践に関する支援を行っています。残余排出量に対しては、お客様のご意向と ISO14068-1：2023 の要求事項に適合する最適なカーボンクレジットの方針策定から対象プロジェクト評価、償却及び証明書発行までを実行しています。

■株式会社 Sustech

Sustech は、2021 年に創業し、「Design the New Era of Energy —エネルギーの新しい未来を描く。—」を経営ミッションに掲げ、革新的な分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」や脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」など、カーボンニュートラル化を実現する包括的なソリューションを提供しています。Sustech は、テクノロジーを活用した、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 Sustech 広報部 03-6722-6301